無料

2024年度後期 たいし塾

開催場所：四天王寺大学

テーマ「女性と仏教」
― 平安時代の女性の『法華経』信仰をめぐって ―
時間：13時30分～15時00分

後期テーマは「女性と仏教」とします。今年度は、平安時代の女性たちの『法華経』信仰について考えるものとします。『法華経』の教えとはどのようなものなのかをご理解いただいた上で、『法華経』が平安時代の貴族女性の精神生活や社会的役割にどのような影響を与えたのかを見ていきます。さらに、女性たちの信仰実践が、どのような仏教美術を生み出したのかも見ていきます。現在、修復の過程で、調査研究が進められている四天王寺所蔵の国宝『扇面法華経冊子』についてもご紹介します。

11/30（土） 講座No. A

『法華経』の教えとは
―久遠実成と悉皆成仏について―

藤谷 厚生 教授

大乗仏教の根本聖典である法華経に説かれた教義、思想の特徴について概説します。特にその中心概念である久遠実成の釈迦とは、悉皆成仏の思想とは何か、法華七喩の内容も参照しながら、その教えの全容を学びます。

12/7（土） 講座No. B

平安時代の女性と仏教
―『法華経』信仰をめぐって―

南谷 美保 教授

女性には「五障」があるために、その往生には「変成男子」が必要だといわれることがあります。平安時代の女性たちは、この問題をどのように意識していたのでしょうか。平安貴族女性の『法華経』信仰のあり方から、探ってみましょう。

12/14（土） 講座No. C

『法華経』信仰の芸術
―美しければ美しいほど功徳がある―

南谷 美保 教授

『法華経』には、それをそのまま絵画に表現することができるような視覚的な比喩が多く、かつ、美しく経典や仏堂を荘厳することが功徳になると説かれていました。貴族女性たちもそうした創作活動に関わっていました。平安時代の『法華経』に関わる、きわめて繊細で優美な仏教芸術をご紹介します。

1/11（土） 講座No. D

国宝「扇面法華経冊子」（四天王寺所蔵）について

河合 由里絵 講師

本講座では、平安時代における法華経美術の優品として知られる国宝「扇面法華経冊子」（四天王寺所蔵）をご紹介します。制作背景に関する様々な説を取り上げながら、本作品がもつ魅力についてお話します。

2/1（土） 講座No. E

学生の展示公開
（近現代建築としての四天王寺五重塔）

田中 誠 講師 / 渡邉 慶一郎 講師 / 南谷 美保 教授
学芸員養成課程修了予定学生

四天王寺五重塔をはじめとする中心伽藍は、幾度も被災・炎上しており、現在のものは1959年SRC造の再建です。2022年に国登録有形文化財に選ばれました。改めて五重塔を中心に文化財としての魅力をご紹介します。